

## 第○学年 道徳科学習指導案

日 時 平成○○年○月○日(○)  
 ○時○分～○時○分  
 授業者 ○○○○

- 1 主題名 ○○○○○ A-(1)善悪の判断, 自律, 自由と責任  
 \*ねらいと教材で構成した主題を, 授業の内容が概観できるように端的に表したものを記述する。原則として, 年間指導計画における主題名を記述する。
- 2 教材名 ○○○○○(出典: )
- 3 ねらい \*内容項目を基に, ねらいとする道徳的価値や道徳性の様相(道徳的判断力, 心情, 実践意欲と態度)を端的に表したものを記述する。  
 \*道徳科の目標から考えると, 道徳的判断力, 心情, 実践意欲と態度のうち, 何が本時のねらいかが明確になるようにする。ただし, 様相は必ずしも一つに限定されるものではない。  
 \*どのような学習活動を通して, どのような道徳的価値に気づき, 何を育むのか記述する。

### 4 主題設定の理由

#### (1)ねらいとする道徳的価値について

\*ねらいや指導内容についての教師の捉え方などを記述する。内容項目を正しく理解するために, 「学習指導要領解説」を参考にする。

#### (2)ねらいに関わる児童生徒の実態について

\*扱う道徳的価値に関連するこれまでの学習状況(含む, その成果や課題等)や実態, 教師の願い等を記述する。

#### (3)教材について

\*教材のあらすじだけでなく, 使用する教材の特質や取り上げた意図及び児童生徒の実態と関わらせた教材を生かす具体的な活用方法等を記述する。

### 5 学習指導過程

道徳科の学習指導過程には, 特に決められた形式はないが, 一般的には以下のように, 導入, 展開, 終末の各段階を設定することが広く行われている。このような指導を基本とするが, 指導の意図や教材の効果的な活用などにあわせて弾力的に扱うなどの工夫をすることが大切。

過程	学習活動と主な発問	予想される児童生徒の発言	指導上の留意点
導入	動機付けを図る段階	本時の主題に関わる問題意識を持たせる, 教材の内容に興味や関心を持たせる	
展開	ねらいを達成するための中心となる段階	児童生徒の実態と教材の特質を押さえた発問をする, 主題が明瞭となった学習を心がける	
終末	今後の発展につなぐ段階	学習を通して考えたことや新たに分かったことを確かめる, 学んだことを更に深く心にとどめたり, これからへの思いや課題について考えたりする	

### 6 評価の視点

- \*児童生徒が一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているかどうかという点や, 道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているかどうかという点などに着目した評価について記述する。
- \*道徳科における評価については, つばさ49号を参考。

### 7 その他

- \*例えば, 板書計画や使用するワークシート, 校内研究との関連, 他の教育活動との関連などが考えられる。授業が円滑に進められるよう必要な事柄を明記する。

山梨県総合教育センターHPの教育情報コンテンツデータベースに, これまでの優れた実践の指導案が掲載されています。参考にしてください。



山梨県総合教育センター ⇒ 授業支援 ⇒ 学習指導案  
<http://cdb.kai.ed.jp/search.php>

